

施策評価シート（評価対象年度：令和元年度）

1. 基本的事項

① 施策名〔施策小〕	1 新産業の導入検討	② 施策番号	1305
③ まちづくりの方向〔政策(章)〕	3 産業の活力が増し、賑わいと交流が生まれるまち		
④ 基本施策〔施策大(節)〕	2 さまざまな製造業が集積し、また新たな産業が発展していくまちをめざします		
⑤ 基本的方向〔施策中〕	2 新産業の導入		
⑥ 担当部名	⑦ 担当課名		
総合政策部	政策推進課		

2. 施策の現状把握

〔1〕施策の対象・意図

① 施策の対象（誰、何に対して施策を実施するのか）	事業者
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか。何を狙っているのか）	大阪府との連携を深め本市の立地特性をPRすることにより、りんくうタウン等に新産業をはじめとする新たな事業者の立地を誘導・促進し、人の流れをつくることでにぎわいと活力を生み出し、新しいまちとしての発展を期す。
③ 環境（この施策を取り巻く状況はどのような状態なのか、また、国や府の動きはどのような状態で、今後どのように変化していくと考えられるか）	定期借地制度導入等により、りんくうタウンにおける企業立地は終了したが、経済・社会情勢の変化から、進出事業者において借地契約途中での用地購入の意向が増加しており、府が中途売却とする変更契約を検討・実施している。

〔2〕施策指標及び推移

施策指標（成果指標）		単位	指標とした理由・考え方
①	タウンに関する調査や、関連して策定された計画の件数	件	調整の結果、事業化に向けて行われる調査が実施されたり、事業計画等が策定されるため、その件数を指標とする。
	計算式		
②	タウン内で新たな事業に進出した事業数	件	調整の結果、実際にりんくうタウンで新たな事業が開始されるため、その件数を指標とした。
	計算式		
③	計算式		

	指標名	単位		H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3目標	備考
①	タウンに関する調査や、関連して策定された計画の件数	件	目標値	1	1	1	1		りんくう公園整備にかかる取組
			実績値	1	1	1	—		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%			
②	タウン内で新たな事業に進出した事業数	件	目標値	2	1	1	1		ロングパーク
			実績値	0	0	1	—		
			達成率	0.0%	0.0%	100.0%			
③			目標値						
			実績値						
			達成率						

〔3〕施策を構成する事務事業

	事務事業名	成果指標					総事業費（千円）			事務事業評価結果		重点化
		指標名	単位	H30実績	R1実績	R2見込	H30実績	R1実績	R2見込	総合評価	今後の方向性	
1	りんくうタウン調整事業	企業立地割合	%	100	100	100	811	463	463	A	ア	◎
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
計	1						811	463	463			

3. 施策の評価

評価の視点	説明・コメント等
①本施策の意図すること(目的)は、上位施策(施策中)の達成にどのように貢献しますか。 (施策所管課等としての考えをお示ください。)	りんくうタウンにおいて新たな新産業等の立地促進を検討することは、まち全体の活性化につながる。
②本施策で設定した指標から何が読み取れますか。 (2[2]の表の数値の推移から分析できることをお示ください。)	大阪府との調整の進展により、新たに音楽イベントや花火大会が受け入れ可能となったことや、泉南ロングパークがオープン予定である等、活性化に向け進展していることが分かる。
③本施策において市民、団体等との役割分担や市の関与は適切ですか。 (施策所管課等としての考え(理想と現実)をお示ください。)	りんくうタウンの活性化については、ソフト事業の充実など新たな方向性を模索している段階であるため、今後市民や団体との調整が必要であると認識している。
④施策を構成する事務事業は適正ですか。 (2[3]を踏まえ、施策目標に対し事務事業にずれはないか、数は適正かについて考えをお示ください。)	当施策に関する本課分担は非常に小さく、他部局が推進するものが複合的に含まれており、現在の本課所管の事務事業だけで施策評価することは適正ではない。
⑤施策を構成する事務事業の中で重点化及び縮小化についてどのように考えますか。 (2[3]において、◎、○、▲とした理由をお示ください。)	本課所管分は比重が小さく、他部局事業とのバランスからみて、現状維持が妥当。

4. 一次評価(所管課評価)

一次評価	評価(A～D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる
	C	施策実現に向け、庁内各部局による連携を維持するとともに、まちの活性化やシティープロモーションに特化した組織機構の見直しも必要である。	B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある

5. 改革、改善案

即時的対応 (すぐに取り組む改善案)	関係機関との調整の中で必要となる事務事業について、市各部局が適切に役割を担い進めていく。
短期的対応 (1、2年のうちに取り組む改善案)	まちの活性化のための新産業導入については、利活用エリアが少なくなったりんくうタウンに限らず、市内全域を対象とする新たなプロジェクトを推進していく。
中長期的対応 (3～5年をめどに取り組む改善案)	プロジェクトの進捗に応じ、長期的な財政計画が必要。

6. 二次評価(行革・財産活用室評価)

二次評価	評価(A～D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる
	C	りんくうタウンにおける新たな事業展開について取組が適切に進められている。 市内全域における施策達成に向けた中長期的な展開への検討を進められたい。	B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある